



史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

No.21

「聖ラファエラ・マリアの足跡を 辿る旅」展開催のご案内



1月13日（火）から19日（月）まで「聖ラファエラ・マリアの足跡を辿る旅」展を開催いたします。

本学の礎を築く聖心侍女修道会の創立者である聖ラファエラ・マリア・ポラスは1925年1月6日にご帰天されました。聖心侍女修道会では2024年に聖ラファエラ・マリア帰天100周年を厳かに祝われました。その記念イベントの一つとして、「聖ラファエラ・マリアの足跡を辿る旅」が企画され、本学からも数名の教職員が参加しました。

清泉女子大学史料室では参加できなかった人たちにもその恵みを分かち合っていただく会を企画いたしました。

【開催内容】

日時：2026年1月13日（火）～19日（月）

会場：清泉女子大学1号館ロビー

ミニレクチャー：

1月13日（火）

講師：河野香織氏（ラファエラ・マリアセンター）

1月15日（木）

講師：中野渡俊治教授（総合文化学部文化史領域）

「聖ラファエラ・マリアの
足跡を辿る旅」展

【日時】
2026年1月13日（火）～19日（月）

【会場】
清泉女子大学 1号館ロビー

【内容】
●パネル展示
●ミニレクチャー
1月13日（火） 河野香織氏
（ラファエラ・マリアセンター）
1月15日（木） 中野渡俊治教授
（総合文化学部文化史領域）

*両日とも13:00から（参加無料、申し込み不要）

【展覧会の構成と見どころ】

本展の核となるのは、2024 年 12 月に実施された「聖ラファエラ・マリアの足跡を辿る旅」の折に収められた貴重な記録写真です。旅の参加者である総合文化学部文化史領域の中野渡俊治教授とラファエラ・マリアセンターの河野香織氏が旅の中で納めた写真を通して歴史的な場所を追体験します。

生誕の地：スペイン ペドロ・アバド

修道生活の舞台：スペイン コルドバ、マドリード

終焉の地：イタリア ローマ

聖ラファエラ・マリア像：バチカン市国

さらに、サン・ピエトロ大聖堂に建立された聖ラファエラ・マリアの像の写真からは、彼女が世界に与えた影響の大きさを知ることができます。

また、本展の期間中には、中野渡教授と河野氏によるミニレクチャーを開催し、現地のリアルな様子や写真の背景にある歴史的な物語を、より深く解説していただきます。このレクチャーを通して、聖ラファエラ・マリアの生涯をより身近に学ぶことができるでしょう。



「史料室だより」は清泉女子大学公式Instagramにて連載中です。